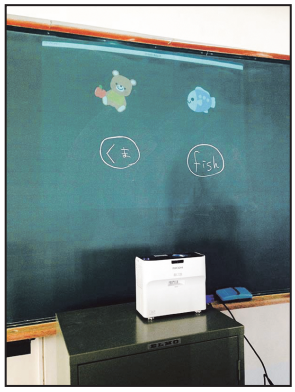
K07 手書き文字認識に基づく画像提示システム

情報科学部・情報科学科・准教授・澤野　弘明
sawano@aitech.ac.jp

キーワード　ホワイトボード、黒板、液晶タブレット、手書き文字、画像提示、教育

概要



手書きで書かれた文字を楕円で囲み、囲まれた文字の意味から画像を検索・提示するシステムである。使用可能なデバイスは、教室に設置される黒板やホワイトボード、そして学生の持つノートによる AR 表示も可能である。

提示される画像は、あらかじめ用意された画像だけでなく、Web 検索 (画像共有サイト Flickr)にも対応可能であり、会議や店頭でのプロモーションや、画像検索のデバイスとしても利用可能である。また学校や塾における黒板にも設置可能である。

セールスポイント

1．黒板やホワイトボード、液晶タブレット、タブレットPCであれば設置可能
2．任意の画像及びその名称をあらかじめ保存して利用することが可能
3．Web検索も可能としており、いくつかの画像を同時に提示することが可能

企業等での活用例、今後の展望

1．教育機関に設置し、文字だけでなく、画像（実写、CG）で提示するシステム
2．タブレットPCに設置し、製品のプロモーションに利用
3．AR技術を利用して、iPhoneアプリとして利用

参考資料

・ 畠中朋美，林友貴，鈴木啓太，澤野弘明，土屋健，小柳恵一：“Dream Board：多言語コミュニケーションのための手書き文字認識による可視化システム”，Nicograph 2013，pp. 41-44（2013-11）
・ Dream Board（Youtube）：https://www.youtube.com/watch?v=Coztz3bD4_Q
・ Dream Note（Youtube）：https://www.youtube.com/watch?v=G3vYQkM1ojE